



あはは

ForAdultOnly





く…ああ、
カジユアルな装いと
いっても暑いものは
暑いのか？

アニラは
みんなと泳ぎに
いかななくて
良かったんだ？

泳ぐのは良いが
陽射しが強くて
適わんのじゃ

水着も持って
おらんし日陰で
過ごそうかの

団長殿こそ
我に付き合わず
とも良かったのに

えあまあ僕は
何回か来てるしね

残ればアニラと
二人きりになれる
なんて言えないな



その
なんじゃ

今日はここに
二人っきりじゃ

存分に我を
もふもふしても
よいのじゃぞ？



ふむ…
のう団長殿？

!





ごめん でも
そんな無防備な
格好で誘惑して
こられたらさ

!?
だ 団長殿 ？

ただでさえ
暑くて部屋中
アニラの良い匂い
充滿してるのに

抑えられないに
決まってるさ



じよ：冗談の
つもりじゃったが：
本気にさせてしまったの

では

匂いなどと…
団長殿こそ
男の匂いをぶんぶん
させておる癖に…

我が気持よく
してやらんとのお

!!



うあッアニラ
そんな触っ！

くふふ・のう团长殿
我は羊羹が大好きでの

今日は团长殿の
股間の羊羹を

存分に味わわせて
もらおうかの♡

おふふ
ハッハッ

ハッハッ



今我のこと
親父くさいと
思ったじゃろ

むー
そうじゃ？

我はおぬしより
うんと歳上
じゃからのっ

まーあ？

そのぶん
技は磨いておる
つもりじゃ

うわ顎でっ

ハッハッ

ハッハッ

ハッハッ

ハッハッ

ハッハッ

ハッハッ

ハッハッ

あ アニラのくち
熱ッ：唾液で
とろとろだしっ
うあッ

衣服のなかで
蒸されておった
濃厚な陽根の臭い：

吸い付き
激しすぎっ…
あッ

口の粘膜から
伝わる 火傷を
しそうな体温

啄むほど
洩れる甘い
喘ぎっ♡

だ
団長殿

我ばかり
味わっては
不公平じゃったな

おぬしも我の
蜜を味わっても
よいのじゃぞ？

！



アニラの
おま○こ！

ツあ
い、一心不乱に
しゃぶりつき
おってえ

くああッ



汗かと
思ったら愛液で
びっちやびちや
じゃないか

僕のチ○コを
しゃぶりながら
濡らしてたんだ？

へー減らず口を
叩くでないっ



わかるかの？
団長殿のち○ほが
我のおっぱいに
挟まれておるのが

どうじゃー？
ふかふかで熱い
おっぱいでち○ほを
蕩かされる気分は

パイズリは
ドラフ女の
十八番じゃぞ

くふふっ
こんなに先汁を
垂れ流しておいて
我のことを言えた
ものではないの

もはや羊羹ではなく
アイスキャンディ
という様相じゃ

どれ芯にある
濃い練乳を
搾り出そうかの

ほれほれー
我慢するでない
味を見せてくれ





くっあッ
アーラに精液
吸われてる…っ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ

アッ
アッ
アッ



はああつ
不意打ちで陰核を
責めおつてえ
ひどいのう团长殿

はは「ごめん
やられっぱなしで
居られないなって

じゃあ今度は
正々堂々
挿れるよアニラ

あつちよつ

ま
待つのじゃ
大事なことを
忘れておる!



团长殿・あいや
ググランは
そのじゃな

我のことを
すつ 好いて
おるのかのう...?

おっ

こ、こういう
交わりは本来
それが一番大切
じゃからのっ!?

あ、暑さにやられて
じゃとかどちらが
誘惑したのされたの
という気の迷いで
全てを釈すわけには
いかぬのじゃっ

おっ 落ち着いて
大丈夫だから
ア—ラっ

もちろん
アーラが好きだよ

最初から
一人きりに
なりたくて騎空艇に
残ったんだしね

そ、
そうじゃったか
ならば良いのじゃ

我もおぬしを
好いー

こーれえっ♡
また不意打ち♡
ではっ♡ないかあ♡

照れてるアキラが
可愛すぎて停まって
られなかったんだ…!!

可愛いなとっ♡
は、恥ずかしいことを
言うでないっ♡

はあっ♥これ、
くっつきすぎて
暑苦しいぞ
んうっ♥

茹だって
汗が あっ

いいじゃないか
どれだけ
暑くたってさ

このまま二人で
身も心も
融けあって…

ひとつに
なれそうなら
気がするから

ん…ああ
くぶぶっ…♥
それもいい
かもしれんのう♥

ではっ♥
お おぬしの
熱でえっ♥

我、をっんう♥
もっともーっと
融かしてっ
貰わねばのっ♥



ああっアニアの
膣内、キツいの
に
柔らかくとろけて

どこまでも
チ○コが入って
いきそうだよっ

くあアッ
ふ、深いっっ

お・おぬしのが
熱々すぎる
のが原因じゃっ

ち○ぽの熱で
私の膣肉がどんどん
融かされておるう

だっめ じゃっ
暑くて、熱くてえっ
もう、堪らぬっ





はああ・♥
身体の外も内も
あつつあつじや・

さ、流石に暑すぎる？
そろそろ離れたほうが
良いかな？

ん！
そうじゃのう…



……いや
皆が戻るまで
おぬしと
融け合っていたい
……駄目かの？

…喜んで

おしまい
15/16

◆ あとがき ◆

ここまでお読みくださって有難うございます。
アニラもふもふしていて良いですね。
冬こそ真価を発揮しそうですが、他の人より基礎体温が高そうな
アニラさんは夏場大変だろうなと思いつつ、汗だくになって
芳しい香りを漂わせてくれそうなので良いぞもっと暑がって！
あ、ちなみに羊は意外と泳ぎは上手らしいです。(何

低身長むちむち巨乳なドラフ族への愛は止まないのですが、
マジサバりの重量級ヒューマンがもっと増えて欲しい今日このごろ。

なおこれを書いている現在、モドリカツウオヌス活けメ作戦を終え
ちょうど碧空が貯まりました。ちょっとソーンぶんなくってきます！
それでは、次回もよろしければお手にとってくださいませ。

◆ 奥付 ◆

発 行：また明日。

発行者：太平 さんせつと

発行日：2015.8.16

印 刷：表紙 株式会社グラフィック
本文 有限会社西村謄写堂

W E B：http://sungoesdown.web.fc2.com/

E-mail：sungoesdown@drive.ocn.ne.jp

●未成年者の購入・閲覧

及び無断転載・複製・複写等を禁止します。

